

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 9月 29日

【評価実施概要】

事業所番号	2870800683		
法人名	有限会社日本健康管理システム		
事業所名	グループホームあさがお		
所在地	神戸市塩屋町4丁目19-16 (電話) 078-752-0676		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成21年7月28日	評価確定日	2009年9月29日

【情報提供票より】(H21年 7月 17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年11月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 10 人, 非常勤 12人, 常勤換算12.8人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋	造り
	3階建て	2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(7月 17日現在)

利用者人数	16 名	男性 1 名	女性 15 名
要介護1	7名	要介護2	5名
要介護3	3名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84.8 歳	最低 74 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村海浜病院
---------	--------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ・居室の窓から海が見える元保養所をグループホームに改造した建物である。前庭が広く、利用者はそこで洗濯物を干したり、花いじりをしたり、お茶を飲みながら道行く人に挨拶したりしている。職員は利用者の能力に応じて一緒にゆっくり過ごすよう心掛けている。コミュニケーション記録、ケア記録等を活用して、利用者の思いや変化に細心の注意をし、その人らしく暮らせる支援をしている。管理者交替もあったが、母体法人のフォローで問題なく行う等運営面もスムーズである。
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流強化や研修の充実によるサービスの質の向上等に取り組み、利用者がいきいき暮らせるよう心がけている。利用者の外出の回数を多くしたり、ヒヤリハットを重視したりリスク管理、グループホーム同士の職員の研修、交流等も進んでいる。 <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ユニット、全職員で話し合っまとめた。利用者、職員の思いが活かせるよう、運営者との話し合いが必要と感じている。利用者の楽しみを増やし、研修を計画的に行うなどに取り組み質の向上に努めつつある。
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、婦人会、往診医、他事業所ケアマネ、利用者、家族、職員で定期的開催している。事業所からの現状報告、事故報告、理念の説明等、家族からの要望や医師の助言、地域包括支援センターからの情報提供等の意見交換がなされている。会議運営と行事を連結させ、両方参加してもらうよう工夫している。
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の暮らしぶりや健康状態の報告をホーム便りと共に送付している。運営推進会議やホームの行事に家族が参加して、事業所と意見交換しているが、家族のみで話し合う場も設けたらさらに好ましい。
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入しており、清掃活動にも職員と一緒に利用者も参加している。婦人会やボランティアの協力のもと、地域の行事やホームの行事に相互に参加する等地域との交流がなされている。商店街の買い物や散歩時出合った人と挨拶を交わし、地域にとけ込む努力をしている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・法人で地域密着型の理念を作っている。又事業所ではユニット毎に地域を意識して年間の目標を立て、地域で暮らすサービスを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念を掲示し、ミーティング等で話し合っている。利用者と一緒に、ゆっくり、楽しくケアの場で心がけ、地域の掃除や買物、行事参加等できるだけ多く交流の機会が持てるよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会に加入して、清掃活動にも参加している。婦人会、ボランティアの協力のもと、地域行事やホームの行事へ相互に参加する等の交流が行われている。職員と一緒に商店街の買物や散歩時、地域の人々と挨拶を交わしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・各ユニット、全職員で話し合っまとめて。利用者、職員の思いが活かせるよう運営者との話し合いが必要と感じている。昨年度の評価を踏まえ、利用者の参加を増やすこと、研修を計画的に行うこと等、質の向上に努める等の取り組みを始めた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域包括支援センター、婦人会、往診医、有識者、利用者、家族、職員で定期的に関催。現況報告、事故報告、理念の説明等、家族からの要望や、医師からの助言等がなされている。会議と行事と絡め、両方に参加してもらえる工夫をしている</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・管理者交替時や利用者の入院について相談した。生活保護受給や後見制度の利用についての連携を取っている。</p>		<p>・事業所の考え方や現状を知ってもらうために、運営推進会議の結果報告等に出向くのはどうか。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・利用者の写真や暮らしぶり、健康状態、「あさがお便り」等を請求書・領収書と一緒に送付している。管理者の異動は書面で伝え、職員の異動は来訪時口頭で伝えている。家族等の来訪時は利用者のことや家族の状況について話し合っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・運営推進会議に複数の家族が出席して、意見交換がなされている。ホームの行事等に家族が参加していても、家族のみで話し合う機会は作られていない。</p>		<p>・運営推進会議に家族が出席し意見交換できているが、家族同士の意見交換の場がないので、会議後に話し合える場を設けてはどうか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・馴染みの職員が関わることで、利用者の混乱は見られない。職員の離職は少ないが今回の管理者の移動も統括者の支援でスムーズにいった。管理者も余裕ができた。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・医療面、虐待、身体拘束等法人内の研修が充実している。内部研修には希望かアンケートを取っている。外部研修は情報提供があるが職員はほとんど参加しない。</p>		<p>・外部研修への参加も質の向上に有効と思われる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・グループホーム連絡会は立ち上げ準備中。地域ケア会議（各介護事業所、施設がメンバー）が事業所で月一回開催され、情報交換やネットワークづくりがなされている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・利用前、本人、家族にホーム見学して、行事にも参加してもらうようにしている。自宅訪問して、生活ぶりに合わせた環境作りに配慮している。入居当初は家族の接触を多めにする協力を求めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・料理、洗濯、園芸、掃除、裁縫等教えてもらうことが多い。「洗濯物たたもうか」、「野菜の皮むこうか」と協力の声かけもある。男性利用者が職員と散歩するとき、道路側を歩いて職員をカバーしてくれる等支えあって生活をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者のいろいろな場面で話した言葉を「コミュニケーション記録」に残している。利用者のふと話した内容を聞こうという姿勢を持って、思いや希望の把握に努めている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・ケアマネジャーが各ユニットでサービス担当者会議を開き、職員と相談し、家族、主治医、法人の看護師の意見も参考にし、介護計画を立てる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・定期見直しは3ヵ月毎、変化があればその都度見直す。ケアノートに利用者の変化を記録し、常時目を通してしているので、職員は方向性を同じくできている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・日常的、緊急時での医療連携体制はできている。1階の交流スペースを地域ケア会議の開催や、催しに活用している。地域の相談窓口としての役割も積極的に担っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけ医受診は家族の協力、必要に応じた職員の対応で継続した通院支援ができています。また内科以外でも協力医の往診体制が整えられ、必要な医療が受けられる環境にある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・法人の「看取り介護に関する指針」を基に、ターミナルの受け入れを前提に、医師、家族との話し合いを進めている。職員間でさらに継続して勉強会などを実施していく考えである。</p>		
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・職員一人ひとりが利用者と節度をもって接するよう日常的に注意し合っている。個人情報の取り扱いについては、ミーティングにより職員間で再確認するよう努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その日の体調をみながら個々の希望を優先させた過ごし方ができるよう努めている。意志表示しにくい人には、気持ちよく過ごしてもらうことを前提に声かけしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・調理、盛り付け、後片付けまで、利用者それぞれができることで参加し、関わりを持つことで食事を楽しんでいる。利用者が職員と一緒におやつを手作りすることもある。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・利用者個々の入浴時間、湯温、好みの入浴剤など、その時の希望を聞いて気持ちよく入ってもらえるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・日々の生活の中で、日常的にできることを役割として続けてもらったり、散歩、野菜や花の世話など、生活の楽しみとして継続できる環境を整えるよう努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・個々の利用者の希望に応じて、事前に予定をたて出かけている。複数人での散歩や買物等、或いは天候や体調をみながら庭での外気浴など柔軟に対応している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・防犯上施錠することもある。		・施錠が常態化しないような工夫と検討を期待したい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・定期の消防訓練、避難訓練を実施し、機器や非常用品の点検には十分留意しており、消防署へは指導を依頼している。</p>		<p>・安心、安全のため、早急に消防署の立会いを実施されることを望みたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事の摂取量は毎回記録している。水分摂取量は、おおそは把握している。摂取の少ない人や体調変化などの健康状態により、記録をとったうえで医師と相談し、支援する場合もある。</p>		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・保養所の建物を活用しているという制限はあるも、前庭で季節の花を育てたり、オープンカフェをしたり、1階にある交流スペースなども有効活用されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居室のしつらえが違っているため部屋ごとに趣があり、利用者の日々の生活ぶりがかがわれる。使い慣れた愛着のある日用品、好みの手作り作品が身近に置かれている。</p>		

 は、重点項目。